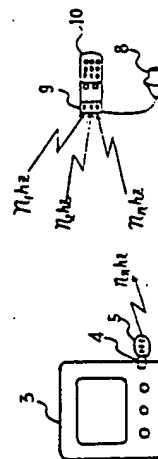


(54) TELEVISION VOICE RADIO RECEIVING SYSTEM

(11) 4-10877 (A) (43) 16.1.1992 (19) JP
(21) Appl. No. 2-113750 (22) 27.4.1990
(71) REIKO TAKAYANAGI (72) REIKO TAKAYANAGI
(51) Int. Cl. H04N5/60, H04B1/04, H04B1/08, H04R1/10

PURPOSE: To selectively and quietly listen to voice at a position separated from a voice generating device main body by receiving the signals of plural different frequencies from a voice signal conversion transmitter.

CONSTITUTION: A voice signal conversion transmitter 5 to possess a function able to transmit plural frequencies ($N_1\text{hz}$, $N_2\text{hz}$, ..., $N_n\text{hz}$) is fitted to an earphone jack 4 or the applying voice signal conversion transmitter is incorporated in a voice generating device main body. Moreover, a receiver 9 to possess the function able to select and to receive the plural frequencies ($N_1\text{hz}$, $N_2\text{hz}$, ..., $N_n\text{hz}$) is fitted to a headphone or the applying receiver 9 is incorporated in a remote controller 10 linked to the earphone. Thus, voice can be listened selectively from a separate position codelessly.



⑫ 公開特許公報(A) 平4-10877

⑤ Int.Cl.⁵

H 04 N 5/60
H 04 B 1/04
1/08
H 04 R 1/10

識別記号

1 0 1

庁内整理番号

Z 6957-5C
K 7240-5K
R 7240-5K
B 8946-5H

⑬ 公開 平成4年(1992)1月16日

審査請求 未請求 請求項の数 1 (全2頁)

⑭ 発明の名称 テレビ音声無線受信システム

⑮ 特 願 平2-113750

⑯ 出 願 平2(1990)4月27日

⑰ 発 明 者 高 柳 玲 子 東京都文京区小石川4-20-19-803
⑱ 出 願 人 高 柳 玲 子 東京都文京区小石川4-20-19-803

BEST AVAILABLE COPY

明 細 書

1. 発明の名称

テレビ音声無線受信システム

2. 特許請求の範囲

1. テレビなど音声発生装置1に内蔵された音声信号転換受信装置2又はイヤホンジャック4を有する1つ又は複数の音声発生装置3と当該音声発生装置からの音声信号を上記イヤホンジャックを通じて受信して夫々の信号に応じた複数の異なる周波数の信号として発信する1つ又は複数の音声信号転換受信装置5、及び当該音声信号転換受信装置2・5からの異なる複数の周波数の信号を受信して夫々の信号に応じた音声信号に転換する機能を備えたヘッドホン6と一体となったワイヤレス受信装置7又はイヤホン8と繋がったリモートコントロール装置10に内蔵されたワイヤレス受信装置9とで構成することを特徴とする音声発生装置におけるコードレス受信システム。

3. 発明の詳細な説明

この発明はテレビなどイヤホンジャックを有する1つ又は複数の音声発生装置本体から離れた位置で選択的に静かに音声を取り取るための音声発生装置におけるコードレスタイプの受信システムに関するものである。

従来、テレビなどの音声発生装置は、いずれもイヤホンジャックを備えているが、イヤホンコードを用いて音声を取り取る方法なので、家庭の主婦など離れて音声を取り取ることを希望する人達、或は同席の人に迷惑をかけることなく独りで音声を取り取ることを希望する人達にとって、音声発生装置本体から離れて取り取り得る距離に制約があり、離れた位置から独りで静かに音声を取り取ることが困難であった。まして座席の各戸発生装置本体からこれらの音声を選択的にキャッチして離れた位置から静かに音声を取り取ることが不可能であった。

本発明のシステムは、この欠点を除去したものである。イヤホンジャックに複数の

周波数 ($N_1 \text{ Hz}$, $N_2 \text{ Hz}$, \dots , $N_n \text{ Hz}$) を発信することができる機能を有する音声信号転換発信装置を取り付け、又は音声発生装置本体に当該音声信号転換発信装置を組み込む。ヘッドホーンには複数の周波数 ($N_1 \text{ Hz}$, $N_2 \text{ Hz}$, \dots , $N_n \text{ Hz}$) を選択して受信することができる機能を有する受信装置を取りつけることにより、又はイヤホーンに繋がったリモートコントロール装置に当該受信装置を組み込むことにより、コードレスで離れた位置から選択的に音声を受け取るようにしたものである。

本発明の具体的効果としては次のことがあげられる

- イ. 主婦などが仕事をしながら、テレビより離れた位置から他人に迷惑をかけることなく、独りで音声を聴き取ることができる。
- ロ. 同室において、複数のテレビを複数の人が、夫々異なったチャンネルの音声を離れた位置から独りで静かに聴き取ることができる。

図4・5は第1・2・3図の発信装置よりの信号を受信するワイヤレス受信装置でヘッドホーンと一体になっている。

6・・・ヘッドホーン

7・・・ワイヤレス受信装置

第6図はイヤホーンと繋がったリモートコントロール装置に内蔵されたワイヤレス受信装置である。

8・・・イヤホーン

9・・・ワイヤレス受信装置

10・・・リモートコントロール装置

ハ. 大部屋の病室などにおいて、他人に迷惑をかけることなく自分のベッドから、離れた位置にある自分のテレビを楽しむことができる。

なお本発明はテレビだけに限定されるものではなく、ラジオ・レコードプレーヤー・テープレコーダー・VTR・レーザーディスクプレーヤー・CDプレーヤー・DATなどに一般に応用できるものである。

4. 図面の簡単な説明

図面は本発明によるシステム図である。第1図はテレビなどの音声発生装置本体と本体に内蔵された音声信号転換発信装置である。

1・・・音声発生装置 (テレビ等)

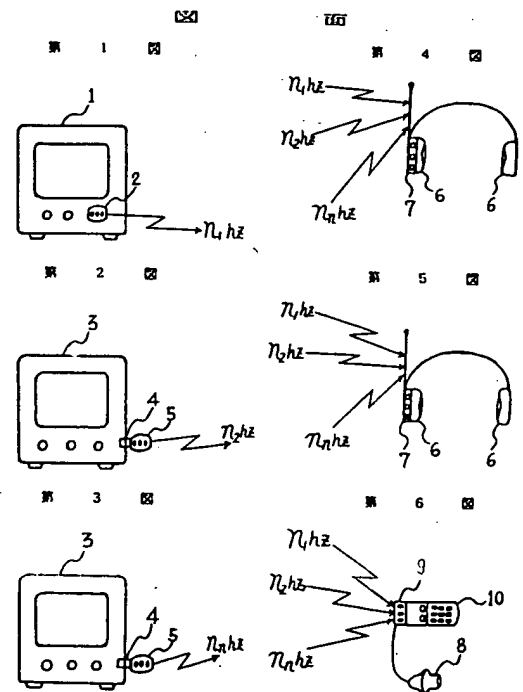
2・・・音声信号転換発信装置

第2・3図は音声発生装置とイヤホンジャックに取りつけた音声信号転換発信装置である。

3・・・音声発生装置 (テレビ等)

4・・・イヤホンジャック

5・・・音声信号転換発信装置



特許出願人 高柳 玲子